

地域	栃木県 鹿沼市	認定日	平成24年2月3日	通巻番号	3 - 23 - 107
----	---------	-----	-----------	------	--------------

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

トマトなどの農産物と、各農産物に合うはちみつを使用した加工食品の開発及び販売

黒田養蜂園のはちみつと丸福農園などが提供する栃木産のこだわりのある農作物を掛け合わせて加工食品を製造し、販売していく。

➤ 連携体

中小企業者 (有)黒田養蜂園 (飲食料品小売業)

農産物とはちみつを使用した商品開発・製造・販売を行う。生産する加工食品や使用する農作物に最適なはちみつの選定・配合を行う。

農業者 丸福農園 (農業)

旬なタイミングで収穫した農作物を新鮮なうちにペースト化、果汁の濃縮などの一次加工および適切な温度帯での保管を行う。

連携参加者

鹿沼商工会議所、(有)わたなべいちご園(農業)、(有)天狗屋物産展(その他の生活関連サービス業)

各業界との連携支援、観光農園に関するノウハウの提供、大手旅行代理店との連携支援を行う。

サポート機関等

(独)中小企業基盤整備機構関東支部

➤ 連携の経緯

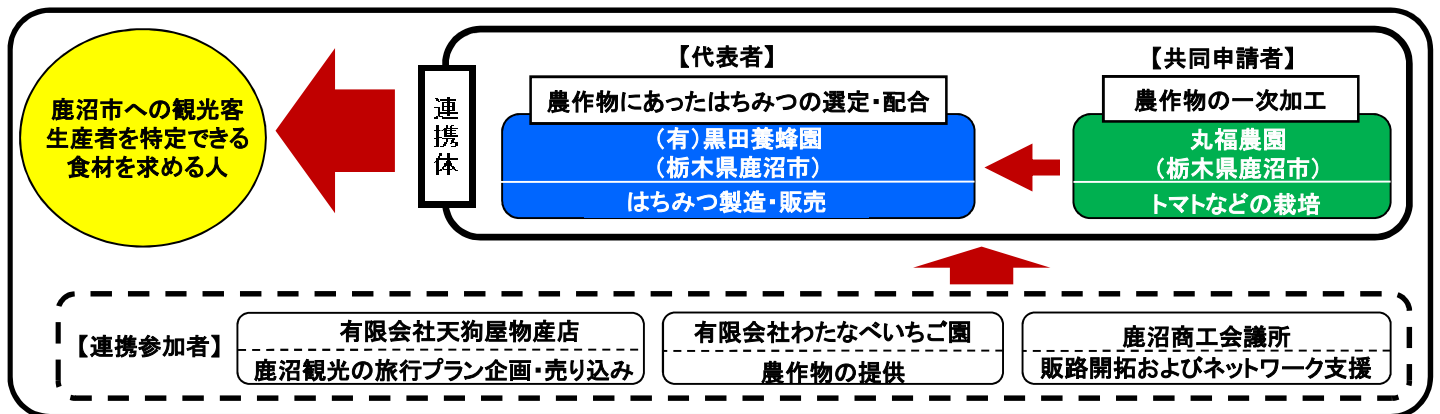
現在の鹿沼には、個々の素材としては日本でも指折りの農産物が数多く存在するものの、素材感をしっかりと活かした地場産加工食品が少ない。その理由は、専業農家がほとんどであり、加工商品として商品化したくても、単独ではそのノウハウがないからである。

また、黒田養蜂園は、地域の農作物の実態を詳細に把握できておらず、特色のある加工品開発が行えない状態にある。そこで両者が有機的な連携をし、トマトをはじめとする各農産物に合うはちみつを使用した加工食品を開発することで、顧客の要望に応え、鹿沼を代表する商品の開発を行うこととなった。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

本事業では、長年養蜂家として蓄積したはちみつに対する知識・ノウハウを活用する。

はちみつは、採集する花の違いによって味や香り色、成分が異なる。気象条件等により、同じ時期、同じ場所で毎年採集しても味の違いが出てくる。その違いを見極めることで、他の農産物との掛け合わせに最適なはちみつを選定・配合することができる。



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で960万円の売上高増加、加工食品の開発・販売による収益改善

端境期の売上確保によって農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者

5年で3,300万円の売上高増加、収益性の改善

はちみつ以外の商材を提供することにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社黒田養蜂園
TEL：0289-62-4018
E-mail：i38@thanks-honey.co.jp

所在地：栃木県鹿沼市村井町291-5
FAX：0289-64-3288
ホームページ：http://www.thanks-honey.co.jp